

# ひまわり会NEWS

Vol.21

大阪千代田短期大学 〒586-8511 大阪府河内長野市小山田町 1685 TEL 0721-52-4141 http://www.chiyoda.ac.jp/

## 通信はがきより掲載 (ミニ通信) その2



幼教38期生 K・Y

いつもひまわり会会報ありがとうございます。懐かし、又今の千代短の様子を拝見出来楽しませてもらっています。二児の母をしながら(現在育児中)頑張っています。

幼教55期生 K・N

会報送って頂きありがとうございます。コロナ禍の中、小山田祭の開催おめでとうございます。楽しい小山田祭にしてください。私は社会人1年目頑張っています。保育者として私も努力していきます。

幼教16期生 T・M

2歳児で加配児を担当しています。発達の様子直しや日々悪戦苦闘しながらも楽しんで保育しています。

幼教11期生 T・H

今は講師として和歌山市内の小学校で2年生を担当しています。コロナ禍で大変ですが頑張っています。65歳になりました。

総コミ9期生 K・T

千代田短大を卒業し、社会人12年目になります。30代になると就職に就き仕事というのは改めて大変だと感じます。この会報を見ると、千代短に通っていたことを昨日のように思い出します。小山田祭に行って、千代短の雰囲気・学生時代を味わいたいです。

幼教41期生 M・T

出産してから約8年間。パート保育士として様々な保育園で勤務してきましたが、周りの協力もあり、この9月から正職員として勤務することになりました。新しい保育園での開園準備、久しぶりの正職員と日々勉強です。これから色々な経験ができるのを楽しみにしています。

幼教16期生 K・S

毎年会報を送って頂き嬉しく思います。短大の事は一生私の宝物、そして現場での経験も楽しかったです。

幼教47期生 T・R

妊娠・出産を機に退職しましたが、4月から新しく認定こども園で働きます。7年近く勤務した幼稚園から、新たに医療的ケア児を受け入れる園に行くので、不安もありますが頑張りたいと思います。

幼教35期生 S・M

地元富山で保育士として楽しく働いています。

## 短大前(東峯口バス停)に花壇が作られました



短大前の空き地を整備して、園児たちの使う畑が出来ました。

また、高野山大学の学生が、花の文化園の指導のもとで花壇作りを行いました。



一番奥に植えられていた百合が少しずつ咲き始めています。梅雨があけ、さらに沢山の花が開き、美しくゴージャスになってきました。地域の方や車で通行中の皆さんが見て癒されているようです。

## ひまわり会 総会

2022年度のひまわり会総会は、  
10月22日(土) 13時から  
予定しています。

コロナ禍での開催となりますので、最新情報や会場などの詳しい内容については、事前にホームページやFacebookをご確認ください。

## ご挨拶

大阪千代田短期大学 学長  
松浦 善満



「学生の願いを込めた笹飾り」(2022.7.7 本学ロビーにて撮影)

卒業生(ひまわり会)の皆さん、お元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。ご存知のように大阪千代田短期大学は1965年に河内長野市の楠木町(盛松寺付近)で産声をあげました。創立当初は幼児教育学科一学科でスタートしましたが、その後、短期大学の急成長期に現在の小山田町に新校舎を建設し、新たに英米学科を増設しました。しかしその後、4年制大学志向が全国に広がる中、同学科を総合コミュニケーション学科に改組しました。また専門学校にも人気が広がり、同学科も余儀なく廃止しました。

現在、本学は保育者養成を専門にした幼児教育学科単科の短期大学として学生の教育を進めています。

このように厳しい状況の中、本学は暁光高校(旧千代田高校)幼児教育コースからの進学制度(「5年一貫制」)、高野山大学文学部教育学科への3年次編入に取り組み、高校、短大、4年制大の連携型育成システムに活路を見出しています。また、「ちよたん」の伝統を生かし大阪府下は無論、県外各地からの学生募集にも力を注いでいます。6月には紀伊田辺市にて卒業生も含め、近隣4校から高校生を迎え、オープンキャンパスを開催、好評を得ました。今後も卒業生の皆様のご要望をお聞きし、県外での入学説明会を開催しますのでご支援ください。

まもなく本学は創立60周年を迎えます。皆様方と一緒に「ちよたん」の伝統と懐旧の思いを語り合えるホームカミングデーの開催も計画しています。ぜひ同窓会事務局にもお声掛けください。お待ちしております。

ひまわり会 会長  
松原 栄子

(幼教16期生 旧姓：西川)



会員の皆さま、日頃から大阪千代田短期大学同窓会ひまわり会の活動にご理解とご協力いただき、心よりお礼申し上げます。

遅くに入った梅雨は最短の速さで終わりました。今年は、4年に一度の気候変動年と言われています。が、こればかりは外れてほしいですね。

また、株や種を変異しながら3年にわたるコロナ禍と、世界中を怒りと不安に陥れているロシアによるウクライナ侵攻(侵略)で皆さまの生活形態も変化したのではないのでしょうか。

不安をかりたて軍事費増計画が進められていますが、

学校法人千代田学園 理事長  
高橋 保



同窓生の皆様如何お過ごしでしょうか。さしものコロナ禍も一山超えたかと心緩みかけた途端、あっという間に第7波が襲いかかってきて、もうほとほと疲れ果てたとの想いを禁じ得ません。とりわけ酷暑の本年、マスク姿は熱中症の心配もあり、場面に依じて着用のオンとオフを適宜的確に自己管理するほかありません。ともあれ、冷静に賢く対処したいものです。

さて、私は2010年4月に縁あって法人理事として法人本部長を拝命し3年間勤務した後、翌2014年理事長に就任致しました。当時、学園を取り巻く環境は激変を想起させる状況下にありました。それまで学園財政の屋台骨を支えてきた短期大学は、折しも女性の4年制大学志向が顕著となり、そもそも短期大学への進学者が減少し始めて行く矢先でした。高等学校もまた、大阪府は私学の授業料支援の枠組みを大きく拡充する一方で、府立高校の学区制を撤廃し、切磋琢磨の名の下如何に生徒を迎えるか、公私を問わず聞

雲に競わせる施策を全面的に展開する中、改革半ばの本校は厳しい局面に立たされました。その頃幼稚園だけは堅調ではありましたが、幼稚園とて南河内の若年人口が激減するなかで、にわかに園児確保に苦勞を強いられています。

では、こうした困難な状況を私たちは如何にして乗り越えようとしているのか。その骨子をご紹介します。ズバリ、迷い惑わず学園一体改革を貫き通す事。短期大学あつての高等学校。高等学校あつての短期大学。5年1貫の教育システムや学びの連続性を構築し、そのど真ん中に幼稚園児がいる学園。短期大学のキャンパスは文字通り幼児教育の磁場と化し、学園内外の人々が集うワンダーランド。短大生はもとより、高校の幼児教育コースや時には教育探究コースの生徒も教員や地域の達人の皆様にごヒントや助言を得つつ、差し伸べたその手の先に弾ける幼児の笑顔。掛替えのない貴重な経験は、学生や高校生にとって何にも増して心の奥深く温かな記憶として刻まれることでしょう。そして当のこども達にとっては、木々を切り開き遊歩道を設えた「千代田の森」(短大の裏山)で夢中になって過ごした時間は一生の宝ものとなるに違いありません。

## 同窓会事務局より

※住所・姓名変更された方は、同封のハガキにて同窓会までお知らせください。問い合わせがふえています。お友達の変更も教えてください。ハガキには必ずご記入ください。

※3名以上でミニ同窓会を開かれたら同窓会へ通信をお願いします。

送ってくださった方に、粗品を進呈いたします。

※最近、同窓会を名乗り、個人情報を引き出すとする事態が発生しています。本同窓会は、個人に対してそのような行為は一切行なっていません。

不審な問い合わせがあった場合、至急ご連絡ください。

※同窓会だより『ひまわり会 NEWS』は就労継続支援B型事業所「なの花」さんと製作に携わっていただいています。

連絡先  
同窓会メール dousoukai@chiyoda.ac.jp  
ホームページ http://www.chiyoda.ac.jp/dousoukai/  
〒586-8577 大阪府河内長野市楠町西 1090 番地  
千代田学園本部気付 同窓会事務局 行  
Tel 0721-69-6120 Fax 0721-52-5782



ひまわり会も  
Facebook  
に参加して  
います。



## 短期大学の取り組み

副学長 島田 和秀

短期大学では、高野山大学と一緒に附属幼稚園との連携を強め、短大・附属幼稚園の魅力をアップするための取り組みを進めています。幼稚園の園児に短大へ来てもらい、学生と接する機会を増やすことによって、学生たちの実践的な学びに結び付けていきたいと考えています。

4月には、短大に砂場と手洗い場を設置し、園児と学生達で泥遊びが出来るようにしました。5月には運動場の一角に畑を作り、幼稚園児が植えた野菜の苗を学生達が水やりをして育て、7月には、年長、年中の園児たちが数回に分けて収穫を行いました。

高野山大学の柳原先生が、河内長野の森林ボランティア「トモロス」の方と協力して短大裏山に遊歩道を作り、森の中で自由に遊ぶことのできるスペース「ちよたんの森」が出来上がりました。高野山大学の取り組みですが、5月から週1回、合計4回園児たちが「ちよたんの森」で自由に遊ぶ「森のようちえん」を行いました。最初はおっかなびっくりの園児たちも2回目、3回目になると大胆に枯葉の積もった斜面を滑り降りたり、木に登ったりと、普段と違った生き生き

とした姿が見られました。秋に再び「森のようちえん」を開催する予定です。

幼稚園の年長組の合宿保育も、今年は短大を使ってキャンプを行いました。園児と先生でテントをリズム室に立てて泊まり、夕食はお釜でご飯を炊き、学生と一緒に育てた野菜を使い、カレーを作って食べました。夜はキャンプファイヤーと花火を楽しみ、真っ暗な短大の中、ランタンをもって探検もしました。実習中の短大生も大活躍で園児たちは大満足の取り組みでした。

また、コロナの影響で2年連続中止していた夏祭りも行うことが出来ました。短大生は試験直前で大変な時期でしたが、それぞれのゼミが園児に楽しんでもらえる創意・工夫を凝らしたコーナーを準備しました。

今後、短大のリズム室やちよたんルームを幼稚園の1日分室として設定し、広いグラウンドやちよたんの森で終日保育を行い、そこに千代田短大の学生の授業を絡めていくような取り組みを進めたいと考えています。そうした様子を随時、幼稚園や短大のホームページに新着情報としてアップしていきますので皆さんご覧ください。



## 母校の先生



卒業生・現役生のみなさま

高野山真言宗 盛松寺住職（非常勤講師）

高橋 成明

みなさまはじめまして。本学園は弘法大師空海(以下、空海)の教えを建学の精神に掲げる学校であります。その教えは、人々に心の平安をもたらす教えといわれています。

21世紀は「物質的な豊かさの時代から心の時代へ」といわれ、物質的な進歩が見られた反面、自然環境の変化・感染症等による世界的な国難ともいえる状況が我々を取り巻いています。そのような時代において「豊かな心を育む」教育が益々必要となってくるでしょう。

本学園では空海の教えに則り「人間教育」を掲げられています。困っている人を見かけたなら優しい言葉をかけ、お互いにどうしたらいいのかを考え合い、嬉しいことや悲しいことがあれば共に笑い・共に泣く。そのような人間関係を築き、共に学び助け合える仲間をたくさん作り、世のため・人のために貢献できる人材が巣立ってほしいと願っております。



## 卒業生の今

誰もが集まり楽しめる憩いの場に

伊佐見 里美（幼教 42期生 旧姓 奥野）



今年6月に開所し、夫が経営するカフェ兼障がい者の作業所で働いています。yayaトキヲコエテ（富田林企業団地内）です。

開所したばかりで、右往左往していますが、楽しいカフェ、楽しい作業所、家ではないもうひとつの居場所として、このカフェ兼作業所を運営していきたいと思っており、大阪千代田短期大学で学んだことを生かされるようがんばります。

障がいのある人もない人も共に楽しく働く場所を目指しています(´▽`)/

仕事をしながらの子育て

佐野 春奈（総コミ 6期生 旧姓 大谷）

今の職場では短大を卒業してからずっと働いているので15年になります。その間に、非常勤、常勤、役職など色々なことを経験させて頂きました。そして今は子どもを産み、育児をしながら介護福祉士として働いています。パートタイマーではありますが、常勤の方と仕事内容は、ほぼほぼ変わりありません。朝早くに起きて子どもの支度をし、その後9時から夕方17時半まで働き、帰ってから家事をすると、正直全てが終わった時はクタクタです。「こんな大変な仕事を何でしてるんやろ」と思う時もあります。それでも、人と関わりながら色々なことを学べる介護の仕事は楽しいです。

小1の息子に「ママの仕事はおじいちゃんやおばあちゃんを助けるお仕事だから、頑張ってな」と言われた時、「何となくでも母親の仕事が分かってくれてるんやな」と思い嬉しく感じました。子育てと仕事の両立は本当に大変ですが、自分の子どもに胸を張れるこの介護の仕事は続けられる限り続けていきたいです。そしていつか、子どもも同じ職につき、悩みを相談し合えたら…なんて考えています(笑)。

現状の生活

寒川 裕貴（総コミ 6期生）

千代田短期大学卒業後に就職した職場のまま変わらず、勤続16年目になりました。長らく特養に所属していたのですが、3年前からはショートステイの相談員とフロアリーダーを兼務する立場になりました。はじめは慣れない契約や送迎、事務作業に加えてフロアでのリーダー業務に悪戦苦闘していましたが、今では「施設の評判を聞いて利用したいです」とお問い合わせいただくことも増えて、楽しく充実した毎日を送っています。

また、プライベートでは4年前に、同棲していた彼女と結婚し、ちょうど特養所属からショートステイ所属に変わった時期に、可愛い可愛い我が子が生まれました。相談員になったことで週末の休みもあり、育児にも比較的参加しやすい環境となりました。日々、子どもの成長を楽しみに仕事を頑張っています。

職場でも家庭でもまだまだ学ぶべきことが多く、これからも精進していきたいと思います。



## 通信はがきより掲載（ミニ通信）その1



幼教28期生 S・M

卒業して28年が経ちます。同期のメンバーお元気でしょうか。今まで実家に届けていただいていたのですが、近々実家を売却することになり、ご縁が途切れないように慌ててこの葉書を送ります。ちなみに長女の名前はひまわりです。

幼教32期生 U・Y

平成10年3月に卒業後、幼稚園10年保育園2年9か月、その後10年前に保育園を開園致しました。コロナ禍ですが先生方お体には気をつけて下さい。

幼教51期生 K・M

会報を見ると楽しかった短大生活が昨日の事のように思い出されます。勤めている園に千代短の子が来ると、実習担当の先生は誰かな？と楽しみにしています。

幼教36期生 U・A

幼稚園免許更新・保育所免許を（在学中休学し取れなかった）ので取得する際、千代短でまたお世話になりました。とても懐かしく母校での勉強は嬉しかったです。10年専業主婦をして、また職場復帰し、家事育児と毎日バタバタしています。

幼教15期生 N・M

この3月に定年退職して、そのまま同じ学校に再任用されています。年月の過ぎるのは早いものです。でも学生の頃の楽しかった思い出は昨日の事のようにクリアです。

幼教11期生 U・Y

多機能型施設で指導員をしています。仕事が楽しくて仕方ありません。年齢を忘れて、行ける所まで頑張ります。高野山大学とのご縁が嬉しいです。